

【課題番号】 S-16

【研究課題名】

アジア地域における持続可能な消費 ・ 生産パターン定着のための政策デザインと評価

研究の全体概要

2015年に国連で合意された持続可能な開発目標(SDGs)では、持続可能な消費と生産(SCP)パターンの実現が1つの目標になっている。アジア地域では、先進国、新興国、開発途上国が混在しており、先進国では、将来世代にわたって持続可能な地球1個分の暮らしのモデルケースとなる消費と生産の構造を構築することが求められ、新興国や開発途上国では、経済成長から効率性追求、さらにニーズの転換と充足性向上へと優先課題を早期に移行し、エネルギー・資源利用効率の向上を通じて公正で公平な循環型・低炭素型社会を構築することが求められる。本研究では、「消費と生産の相互連携の強化」、「経営者や投資家、生活者などの多様な関係者の活動」、「消費における充足性の向上のための政策デザイン」、「SDGsを梃子にしたSCP政策の実施」をテーマとし、異なる学術分野からのアプローチを統合することによって、日本およびアジア各国のSCPパターンへの転換を実現する政策デザインに貢献する。

効率性と充足性の向上による  
持続可能な消費と生産(SCP)パターン定着のための  
政策パッケージのデザイン  
アジア地域の消費と生産の環境負荷増大スパイラルを  
持続可能な地球1個分の暮らしに抑える

- 経済モデルや環境影響評価手法等を統合的に活用する評価モデル
  - 科学的根拠に基づいた政策立案
  - 各国との環境政策対話での活用
- 日本・アジア各国の産業・金融へのSCP指向ビジネスモデルの提案
  - グローバルおよび各国研究グループとのネットワークの強化
  - 国際的なSCP推進活動への貢献

